



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月6日

上場会社名 伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2296 URL <http://www.itoham-yonekyu-holdings.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 功

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部IR室長 (氏名) 高武 彰

TEL 03-5723-6889

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	642,932	5.0	18,702	3.8	20,552	8.9	14,418	16.5
29年3月期第3四半期	612,411		19,449		22,549		17,263	

(注)包括利益 30年3月期第3四半期 13,939百万円 ( 1.4%) 29年3月期第3四半期 14,136百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	48.59	48.54
29年3月期第3四半期	58.06	58.00

(注)当社は平成28年4月1日設立のため、前年同四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	385,139	219,880	56.8
29年3月期	373,632	220,033	56.9

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 218,627百万円 29年3月期 212,519百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		17.00	17.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				17.00	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	825,000	4.1	20,500	4.5	23,000	7.6	16,500	8.5	55.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	297,355,059 株	29年3月期	297,347,059 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	1,282,443 株	29年3月期	6,476 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	296,769,811 株	29年3月期3Q	297,342,389 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、決算発表後、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな景気回復基調で推移しましたが、海外における不安定な政治動向や地政学的リスクの高まり等の影響が懸念されるなど、先行きについては不透明な状況が継続しております。

当業界におきましては、原材料価格や物流コストが上昇する中、食料品等の日常生活品に対する消費者の低価格志向は依然根強く、厳しい事業環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、2016年度から5年間を対象期間とした「中期経営計画2020」に基づき、「私たちは事業を通じて、健やかで豊かな社会の実現に貢献します」の理念の下、経営基盤の強化をさらに進めております。また、シナジー効果を最大限に発揮し、本計画の最終年度の2021年3月期までに売上高1兆円、経常利益300億円、経常利益率3%以上の業績目標を達成して名実ともに業界のリーディングカンパニーとなるためグループ一丸となって取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、前年同四半期に比べて305億21百万円増加して6,429億32百万円（前年同四半期比5.0%増）となりました。営業利益は、前年同四半期に比べて7億46百万円減少し、187億2百万円（前年同四半期比3.8%減）となりました。また、経常利益は、前年同四半期に比べて19億97百万円減少し、205億52百万円（前年同四半期比8.9%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に比べて28億44百万円減少し、144億18百万円（前年同四半期比16.5%減）となりました。

報告セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

#### <加工食品事業>

ハム・ソーセージについては、「The GRAND アルトバイエルン」「朝のフレッシュシリーズ」「ポークビッツ」「御殿場高原あらびきポーク」等の主力商品を対象としたテレビコマースの投入や消費者キャンペーンの実施により、ブランド力の強化に取り組んだ結果、販売数量、売上高ともに増加しました。

調理加工食品については、消費者の簡便志向・健康志向に対応した商品提案を強化し、ピザ・スナック類や「サラダチキン」などのチキン商品が好調に推移したことに加え、ハンバーグ類や中華惣菜等についても拡販に努めた結果、販売数量、売上高ともに増加しました。

ギフトについては、フラッグシップギフトの「伝承」を中心に拡販し、歳暮商戦においては販売数量、売上高ともに堅調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の加工食品事業の外部顧客への売上高は、前年同四半期に比べて78億7百万円増加し、2,246億77百万円（前年同四半期比3.6%増）、営業利益は、原材料価格が上昇する中、拡販に努めた結果、前年同四半期に比べて46百万円増加し、110億14百万円（前年同四半期比0.4%増）となりました。

#### <食肉事業>

国内事業については、輸入食肉は、輸入牛肉の米国産チルドビーフの販売数量の伸長や輸入豚肉のオリジナルブランドの拡販等により、牛肉、豚肉、鶏肉ともに販売数量、売上高が増加しました。国内食肉は、国産牛肉の相場高が一段落した状況の中、国内生産者との連携強化を深めて拡販に努めた結果、販売数量、売上高ともに増加しました。

海外事業については、アンズコフーズ社は、ニュージーランド全体の牛処理頭数減少の影響を受け、牛肉の販売数量、売上高ともに減少しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の食肉事業の外部顧客への売上高は、前年同四半期に比べて227億17百万円増加し、4,150億47百万円（前年同四半期比5.8%増）、営業利益は、海外事業の収益環境の悪化等の影響により、前年同四半期に比べて7億91百万円減少し、79億94百万円（前年同四半期比9.0%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて115億6百万円増加し、3,851億39百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、たな卸資産の増加等と現金及び預金の減少等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて116億60百万円増加し、1,652億59百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、短期借入金の増加等と1年内償還予定の社債の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1億53百万円減少し、2,198億80百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加等と非支配株主持分の減少と自己株式の取得等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における原材料価格の上昇や海外事業の収益環境の悪化等の影響を踏まえ、改めて今後の業績見通しを検討した結果、平成29年5月11日に公表した平成30年3月期の連結業績予想について、以下のとおり修正いたします。

平成30年3月期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	840,000	22,500	25,000	16,500	55.60
今回修正予想(B)	825,000	20,500	23,000	16,500	55.60
増減額(B-A)	△15,000	△2,000	△2,000	—	
増減率(%)	△1.8	△8.9	△8.0	—	
(参考)前期連結実績 (平成29年3月期)	792,564	21,455	24,884	18,038	60.67

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	53,087	16,414
受取手形及び売掛金	78,559	121,801
有価証券	200	—
商品及び製品	57,956	60,808
仕掛品	1,676	1,228
原材料及び貯蔵品	16,323	17,871
その他	7,564	5,861
貸倒引当金	△18	△28
流動資産合計	215,349	223,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,706	32,512
機械装置及び運搬具（純額）	24,349	24,415
工具、器具及び備品（純額）	1,217	1,303
土地	25,839	25,995
リース資産（純額）	1,489	1,563
その他（純額）	1,477	1,832
有形固定資産合計	86,079	87,623
無形固定資産		
のれん	25,631	24,492
その他	2,000	1,814
無形固定資産合計	27,631	26,307
投資その他の資産		
投資有価証券	32,970	34,917
退職給付に係る資産	4,611	5,598
その他	7,158	6,874
貸倒引当金	△168	△139
投資その他の資産合計	44,572	47,251
固定資産合計	158,283	161,181
資産合計	373,632	385,139

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,017	69,193
電子記録債務	513	1,790
短期借入金	12,952	23,991
1年内返済予定の長期借入金	3,943	5,396
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	1,991	1,024
賞与引当金	5,854	3,785
その他	25,021	31,065
流動負債合計	121,294	136,246
固定負債		
長期借入金	24,205	20,293
退職給付に係る負債	1,795	1,788
資産除去債務	1,076	1,212
その他	5,226	5,718
固定負債合計	32,304	29,012
負債合計	153,598	165,259
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,000	30,003
資本剰余金	98,005	96,289
利益剰余金	79,300	88,664
自己株式	△5	△1,312
株主資本合計	207,300	213,645
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,979	7,698
繰延ヘッジ損益	△439	△45
為替換算調整勘定	△1,884	△2,174
退職給付に係る調整累計額	△436	△496
その他の包括利益累計額合計	5,218	4,982
新株予約権	220	257
非支配株主持分	7,293	994
純資産合計	220,033	219,880
負債純資産合計	373,632	385,139

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	612,411	642,932
売上原価	510,371	539,540
売上総利益	102,040	103,392
販売費及び一般管理費	82,590	84,690
営業利益	19,449	18,702
営業外収益		
受取利息	94	70
受取配当金	281	330
受取賃貸料	353	295
持分法による投資利益	2,856	1,392
その他	677	582
営業外収益合計	4,264	2,672
営業外費用		
支払利息	725	688
不動産賃貸費用	151	106
創立費	210	—
その他	78	28
営業外費用合計	1,164	822
経常利益	22,549	20,552
特別利益		
投資有価証券売却益	1,971	742
その他	497	202
特別利益合計	2,468	945
特別損失		
固定資産除却損	199	147
投資有価証券評価損	—	36
その他	214	107
特別損失合計	413	290
税金等調整前四半期純利益	24,604	21,206
法人税、住民税及び事業税	5,239	5,662
法人税等調整額	1,834	1,235
法人税等合計	7,074	6,897
四半期純利益	17,530	14,309
非支配株主に帰属する四半期純利益	266	△109
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,263	14,418



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	17,530	14,309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,239	725
繰延ヘッジ損益	385	△46
為替換算調整勘定	△2,545	△550
退職給付に係る調整額	0	△59
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△438
その他の包括利益合計	△3,393	△369
四半期包括利益	14,136	13,939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,513	14,182
非支配株主に係る四半期包括利益	△377	△242

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	加工食品 事業	食肉 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	216,869	392,330	609,199	3,211	612,411	—	612,411
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,832	19,836	22,669	15,591	38,260	△38,260	—
計	219,702	412,166	631,869	18,802	650,672	△38,260	612,411
セグメント利益	10,968	8,786	19,754	582	20,336	△887	19,449

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び人事給与関連業務サービス等であります。

2. セグメント利益の調整額の主な内容は、のれんの償却額△1,041百万円等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	加工食品 事業	食肉 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	224,677	415,047	639,725	3,207	642,932	—	642,932
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,858	22,239	25,097	16,832	41,929	△41,929	—
計	227,535	437,286	664,822	20,039	684,862	△41,929	642,932
セグメント利益	11,014	7,994	19,009	607	19,617	△915	18,702

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び人事給与関連業務サービス等であります。

2. セグメント利益の調整額の主な内容は、のれんの償却額△1,041百万円等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(組織再編に伴うセグメント区分の変更)

第1四半期連結会計期間より、各セグメント間の連携強化を図る目的で、物流子会社及びその統括部門の社内管理体制を変更しております。この組織再編により「加工食品事業」に含めていた当該組織を「その他」に区分変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。